

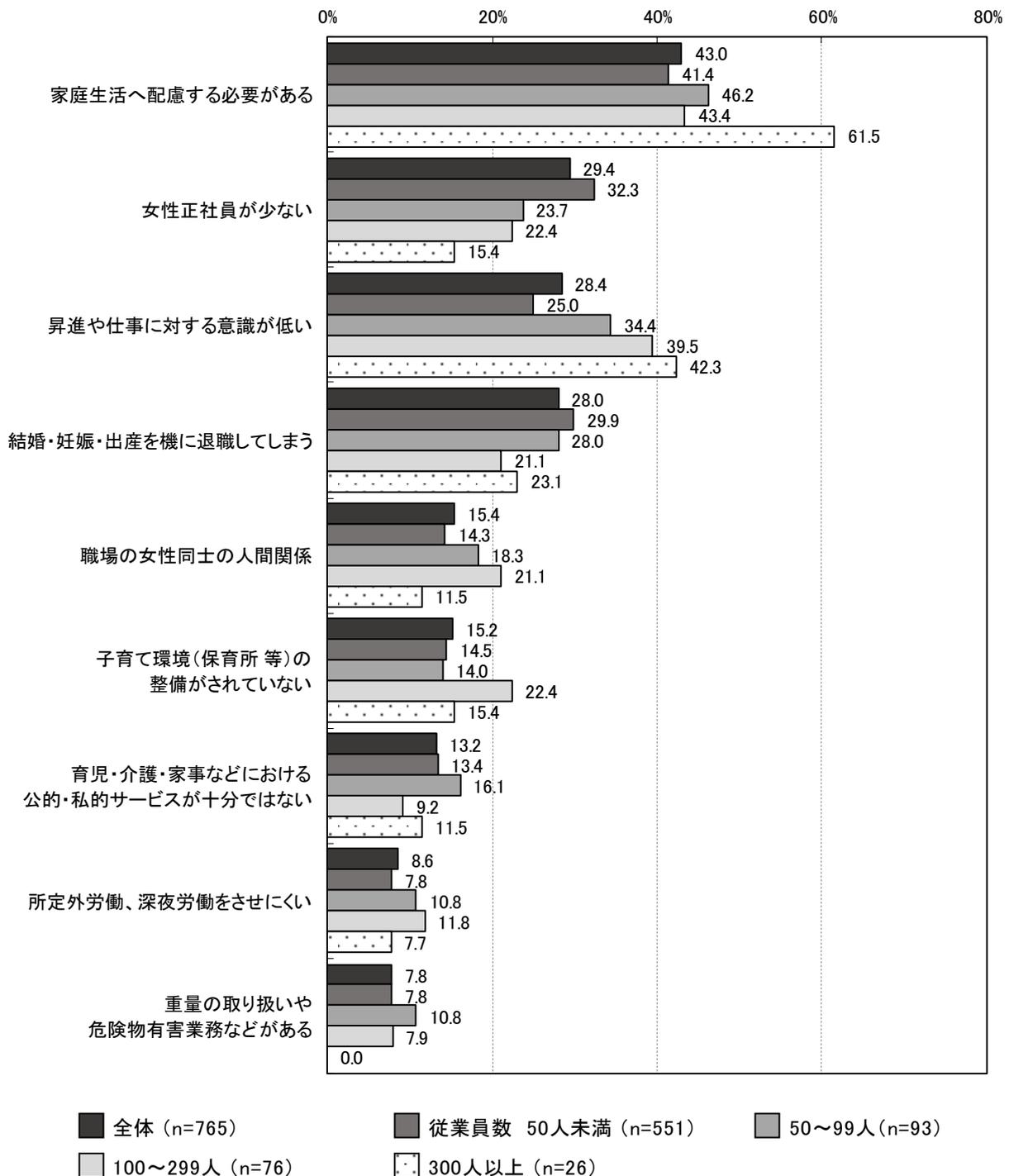
第八章 女性の活躍を推進するうえでの課題について

1. 女性の活躍を推進するうえでの課題【問16】

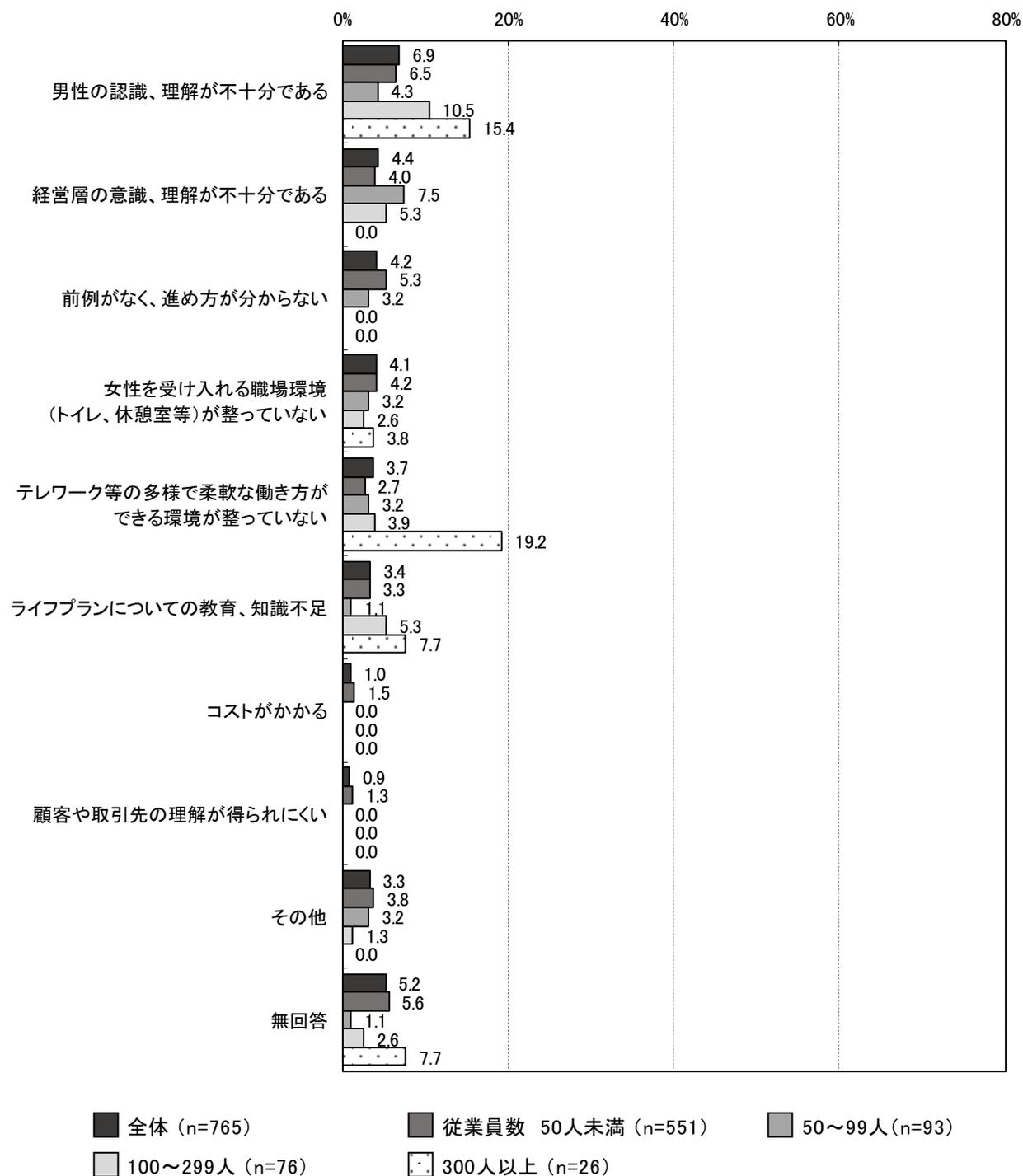
全体では、「家庭生活へ配慮する必要がある」が43.0%と最も高く、次いで「女性正社員が少ない」が29.4%、「昇進や仕事に対する意識が低い」が28.4%の順となっている。

従業員規模別でみると、いずれの従業員数も「家庭生活へ配慮する必要がある」の割合が最も高く、そのうち300人以上が61.5%と最も高くなっている。

〔図表 8-1-1①〕女性の活躍を推進するうえでの課題（全体・従業員規模別）《MA》

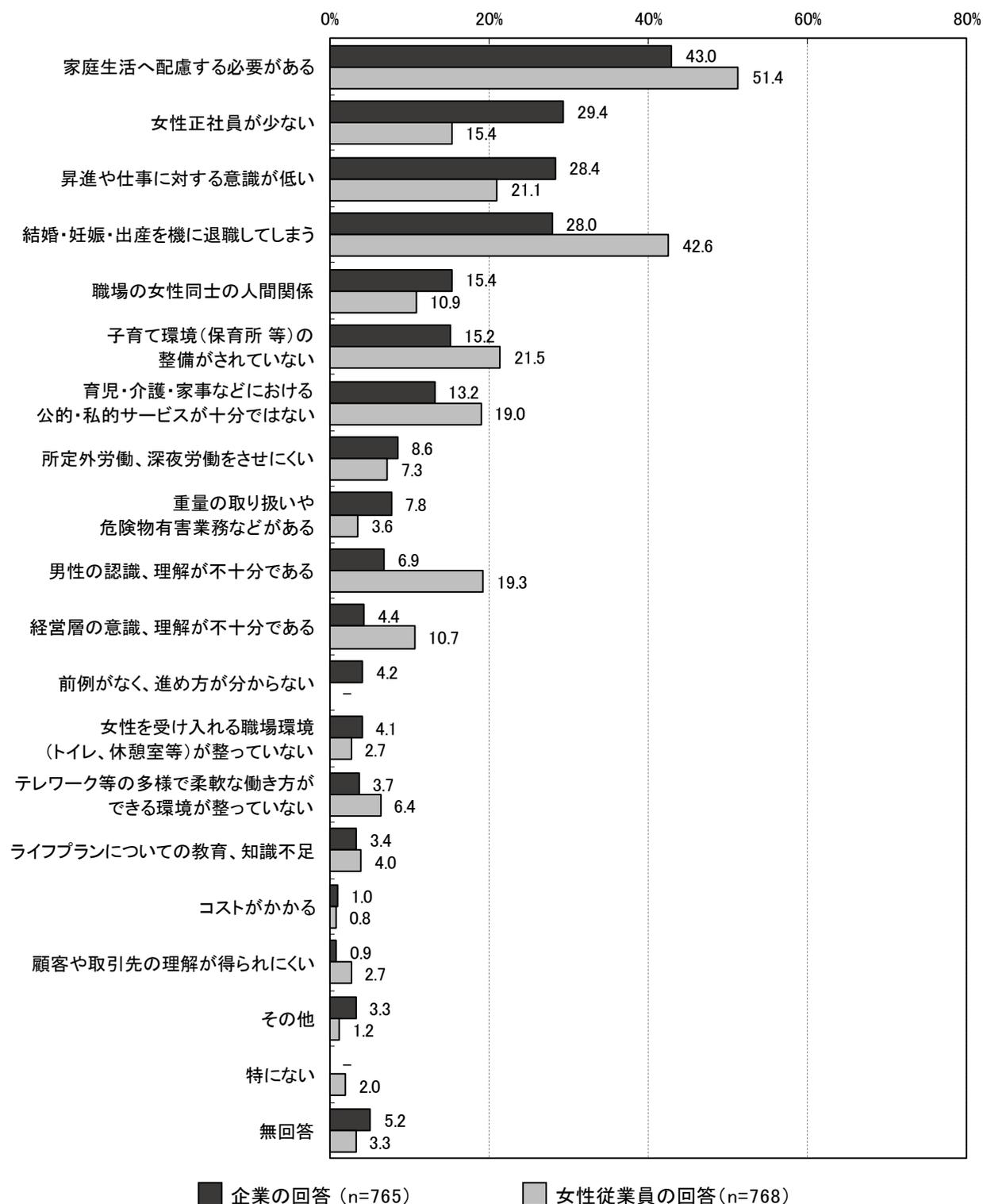


[図表 8-1-1②] 女性の活躍を推進するうえでの課題（全体・従業員規模別）《MA》



女性従業員【問12】の回答と比較すると、企業、女性従業員ともに「家庭生活へ配慮する必要がある」の割合が最も高いが、女性従業員の回答が企業の回答より8.4ポイント高くなっている。また、「結婚・妊娠・出産を機に退職してしまう」で14.6ポイント、「男性の認識、理解が不十分である」で12.4ポイントとそれぞれ女性従業員の回答が企業の回答より10ポイント以上高くなっている。

〔図表 8-1-2〕 女性の活躍を推進するうえでの課題（女性従業員【問12】の回答比較）《MA》



前回の調査と比較すると、今回の調査は前回の調査と比べて大きな変化はみられず、ともに「家庭生活へ配慮する必要がある」の割合が最も高くなっている。

[図表 8-1-3] 女性の活躍を推進するうえでの課題（前回調査との比較）《MA》

